

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
エステティック教育技術		エステティックマスター学科/1年	2026/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	120回	4単位(120時間)	必須	
授業の概要				
<p>ハンドテクニックに比べ、より高度な技術力を必要とする道具を使用したトリートメントを学ぶ。道具を使用することで、ハンドテクニックに加え、より効果的にトリートメントを行うことができることを実践的に体験学習を行う。青竹セラピーでは、竹を使用し、筋肉のコリや緊張を和らげる技術を学び、ストーンセラピーでは、ストーンの温熱効果が身体に及ぼす影響とともに筋肉の緊張を和らげる技術を学ぶ。また、カウンセリング実技実践では、初見のお客様に対してボディチェックを行い、お客様の希望に効果的なトリートメントを選択し、提供する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>お客様の美容に関するご希望に加え、健康やリラクゼーションを目的とした技術を習得し、高齢者など幅広いお客様にも対応できる知識と技術力を身に付ける。また、お客様に合わせた技術、化粧品を選択でき、的確なホームケアアドバイスを行うことができるよう知識と経験を身に付ける。</p>				
回	テーマ	内容		
1～ 4	エステティック教育技術実習	青竹セラピー①		
5～ 8	エステティック教育技術実習	青竹セラピー②		
9～ 12	エステティック教育技術実習	青竹セラピー③		
13～ 16	エステティック教育技術実習	青竹セラピー④		
17～ 20	エステティック教育技術実習	青竹セラピー⑤		
21～ 24	エステティック教育技術実習	青竹セラピー⑥		
25～ 28	エステティック教育技術実習	青竹セラピー⑦		
29～ 32	エステティック教育技術実習	青竹セラピー⑧		
33～ 36	エステティック教育技術実習	青竹セラピー⑨		
37～ 40	エステティック教育技術実習	青竹セラピー⑩		
41～ 44	エステティック教育技術実習	カウンセリング実技実践①		
45～ 48	エステティック教育技術実習	カウンセリング実技実践②		
49～ 52	エステティック教育技術実習	カウンセリング実技実践③		
53～ 56	エステティック教育技術実習	カウンセリング実技実践④		
57～ 60	エステティック教育技術実習	カウンセリング実技実践⑤		

回	テ ー マ	内 容		
61～ 64	エステティック教育技術実習	カウンセリング実技実践⑥		
65～ 68	エステティック教育技術実習	カウンセリング実技実践⑦		
69～ 72	エステティック教育技術実習	カウンセリング実技実践⑧		
73～ 76	エステティック教育技術実習	カウンセリング実技実践⑨		
77～ 80	エステティック教育技術実習	カウンセリング実技実践⑩		
81～ 84	エステティック教育技術実習	ストーンセラピー①		
85～ 88	エステティック教育技術実習	ストーンセラピー②		
89～ 92	エステティック教育技術実習	ストーンセラピー③		
93～ 96	エステティック教育技術実習	ストーンセラピー④		
97～ 100	エステティック教育技術実習	ストーンセラピー⑤		
101 ～	エステティック教育技術実習	ストーンセラピー⑥		
105 ～	エステティック教育技術実習	ストーンセラピー⑦		
109 ～	エステティック教育技術実習	ストーンセラピー⑧		
113 ～	エステティック教育技術実習	ストーンセラピー⑨		
117 ～	エステティック教育技術実習	ストーンセラピー⑩		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・日本スパ・ウエルネス協会 『スパセラピー』 『美容瘦身学』 『介護予防ウエスネス学』 『理論Ⅰ～Ⅵ』 『技術Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ』 ・筆記用具 ・ノート ・バインダー ・制服・ナースシューズ ・化粧品各種 ・衛生消毒備品 ・タオル類 ・その他、ボディ技術に必要な機器・備品 		出席率 授業態度 実習・実技評価 期末試験	10.0% 10.0% 10.0% 70.0%	定期実技試験は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。 出席率90%以下の場合、成績評価の対象外となるので注意すること。 遅刻・早退は10分まで。 遅刻・早退3回で欠席1回とする。 施術禁忌に当たる学生は実習モデルを行わない。日頃から体調管理やケガ等をしていないように心掛けること。 事前に実習にふさわしい身だしなみ（制服着用、髪型）を整え授業に臨むこと。